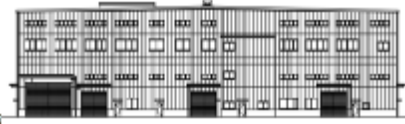


CASBEE[®]-建築(新築)

評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2014年版 | 使用評価ソフト: osk_CASBEE-BD_NC_2014(v.1.23)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	近畿車輛株式会社 新台車枠工場他	階数	地上2F
建設地	大阪府東大阪市稲田上町2丁目2番	構造	S造
用途地域	都市計画区域内市街化区域	平均居住人員	50人
気候区分	5地域	年間使用時間	8,760時間/年
建物用途	工場	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2016年9月 予定	評価の実施日	2015年9月18日
敷地面積	157,689 m ²	作成者	近鉄軌道エンジニアリング(株) 沼田博志
建築面積	4,983 m ²	確認日	2015年9月18日
延床面積	9,867 m ²	確認者	近鉄軌道エンジニアリング(株) 沼田博志



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 0.7 ★★☆☆☆☆

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算

①参照値 100% (kg-CO₂/年・m²)

②建築物の取組み 52%

③上記+②以外の 52%

④上記+ 52%

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q 環境品質

Q1 室内環境

Q1のスコア = 0.0

音環境	N.A.
温熱環境	N.A.
光・視環境	N.A.
空気質環境	N.A.

Q2 サービス性能

Q2のスコア = 3.3

機能性	N.A.
耐用性	3.0
対応性	3.6

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 1.7

生物環境	1.0
まちなみ	2.0
地域性	2.0

LR 環境負荷低減性

LR1 エネルギー

LR1のスコア = 3.0

建物外皮の	N.A.
自然エネ	3.0
設備システ	N.A.
効率的	3.0

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 3.0

水資源	3.4
非再生材料の	2.8
汚染物質	3.0

LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.7

地球温暖化	4.9
地域環境	3.3
周辺環境	3.0

3 設計上の配慮事項		その他
総合		
Q1 室内環境 評価対象外	Q2 サービス性能 外壁仕上材に耐用年数の長いものを使用	Q3 室外環境(敷地内)
LR1 エネルギー	LR2 資源・マテリアル 自動水栓、省水型器具の使用	LR3 敷地外環境 LCCO ₂ 排出率=52%

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される

大阪府建築物環境配慮評価システム 2015年版

大阪府の重点評価(結果)

受付番号

H27-0051

Osakafu-新築・既存 2015V1.03

【建物概要】	建物名称	近畿車輛株式会社 新台車枠工場他増築工事(工場棟)					
	建設地	大阪府東大阪市稲田上町2丁目2番46号					
	用途/区分	工場					
【評価結果】	CASBEE 総合評価					B-	
	CO2削減					5	
	省エネ対策					3	
	みどり・ヒート アイランド対策					2	
	再生可能エネルギー 利用施設の導入状況	太陽光発電	—	風力	—	地熱	—
		太陽熱利用	—	水力	—	バイオマス	—
	エネルギー消費量の報告					報告しない	

【評価項目】				
省エネルギー対策		① CO2削減		
		② 省エネ対策		
項目	評価内容	スコア	評価	
① CO2削減	CASBEE「LR3-1」のスコアによる評価	4.9	5	
② 省エネ対策	外皮性能	CASBEE「Q1-2. 1. 2」のスコアによる評価 建物全体 住戸・宿泊	3	
	建物外皮の熱負荷抑制	CASBEE「LR1-1」のスコアによる評価		
	自然エネルギーの利用	CASBEE「LR1-2」のスコアによる評価		3.0
	設備システムの高効率化	CASBEE「LR1-3」のスコアによる評価		3.0
	効率的運用	CASBEE「LR1-4」のスコアによる評価		
	水資源保護	CASBEE「LR2-1」のスコアによる評価		3.4
エネルギー消費の実態把握に努める	エネルギー消費量の実績を3年間報告する。	報告する 報告しない	報告しない	
みどり ヒートアイランド対策		③ みどり・ヒートアイランド対策		
項目	評価内容	スコア	評価	
生物環境の保全と創出	CASBEE「Q3-1」のスコアによる評価	1.0	2	
敷地内温熱環境の向上	CASBEE「Q3-3. 2」のスコアによる評価	2.0		
温熱環境悪化の改善	CASBEE「LR3-2. 2」のスコアによる評価	3.0		
その他				
先進的技術の導入	技術の名称	考慮事項		
特に配慮した事項				